

【提出意見とそれに対する栃木県の考え方】

「栃木県スポーツ推進計画（案）」に対する意見募集を行った結果、2名の方から計5件の御意見を頂きました。貴重な御意見ありがとうございました。

提出された御意見を十分検討の上、それに対する県の考え方を次のとおりまとめました。

なお、類似の意見については、内容ごとにまとめさせていただきました。

項目	意見の内容	意見に対する考え方
「スポーツ参画人口の拡大をめぐる現状と課題」について	「(1)子どもの体力とスポーツ活動の現状と課題の中で「本県児童生徒の体力状況」(P4)、「本県児童生徒の新体力テストの状況」(P5)についてグラフが記載されているが、小中学生と高校生の調査が異なるため、わかりやすく表記する必要がある。	各調査の違いがわかるよう注釈を加えました。
「スポーツ参画人口の拡大をめぐる現状と課題」について	「(2)ライフステージに応じたスポーツ活動の現状と課題」の中で「令和2(2020)年度における本県成人の年齢別スポーツ活動実施の割合」(P8)について記載されているが、女性や20代から50代のいわゆる「働き盛り世代」や「子育て世代」のスポーツ活動実施率が低いとは言えないのではないかと懸念されている。	女性のスポーツ活動実施率は、近年の調査結果によりみると、男性より高い年もありましたが、女性の方が低い年が多いことから変更はありませんので御理解ください。 また、20代から50代のいわゆる「働き盛り世代」や「子育て世代」のスポーツ活動実施率については、「20代から50代のいわゆる」(P7)の部分を「30代から50代などの」に修正いたしました。
「スポーツ参画人口の拡大をめぐる現状と課題」について	民間フィットネスクラブとの連携について検討していくことが必要ではないかと懸念されている。	(2)ライフステージに応じたスポーツ活動の現状と課題の①(P7)の中で「フィットネスクラブ等の利用」について記載しました。
「競技力の向上」について	基本施策12～14の実現のためには、メンタルトレーナーの育成と活用が必要と考える。	基本施策14(2)とちぎスポーツ医科学センターを活用した競技力向上の①(P42)に「メンタルトレーニングや栄養サポートなど」を加えました。
「推進体制」について	県中体連や県高体連については、基本施策2「多様なニーズに応じた運動部活動の推進」の中の(4)安全管理の徹底(P44)のみ記載があるが、他の取組内容にも関わっているのではないかと懸念されている。	推進体制(P45)の基本施策12、次世代アスリートの発掘・育成・強化(1)チームや個人の強化指定による支援の主な関係機関に県中体連、県高体連を加えました。